平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月9日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	12210
政策名（章）	第2章　生涯にわたる健康づくりを進めます	評価担当局	健康福祉局
基本施策名（節名）	第2節　市民健康づくりの推進	施策所管課	中央保健センター
施　策　名	自ら行う健康づくり	課長名	鈴木豊子

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

すべての人々がすこやかでこころ豊かに生活できる活力ある都市を目指し、病気の早期発見や治療にとどまらず、健康を増進し発病を予防することを重点に、個人・家庭・地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを進めるため、市民の健康増進に対する意識の高揚と自発的な健康づくり活動の支援を行う。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	36,904	31,585	歯の衛生週間歯科事業は廃止され、食育推進事業・栄養改善事業は総合的な地域保健医療体制の確立の施策に移行したため。
人件費	33,280		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	55	45	
合計	70,184	31,585	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

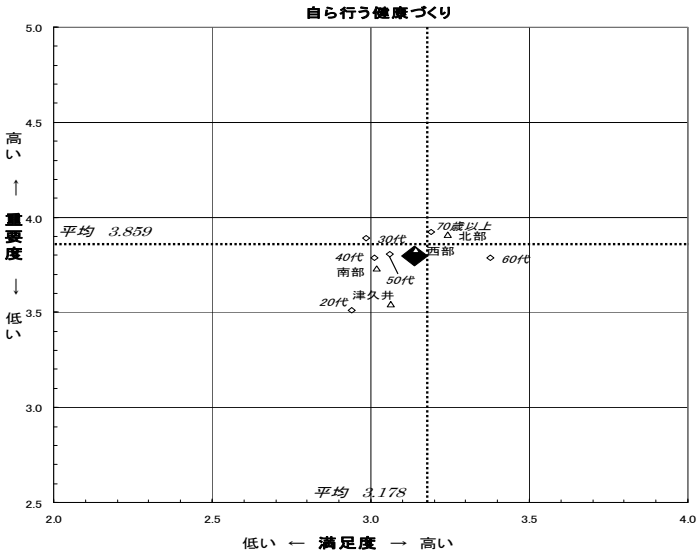
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	行政と市民団体等が、連携して実施する健康づくりを推進するための事業への参加動員数の増加	市民団体等への各種委託事業（健康づくりイベント等）の合計参加動員数	合計参加動員数の前年度比3%アップ
指標2	健康増進事業の充実 60歳未満の参加者の体重の減少	健康増進事業のうち　運動プログラム作成時と運動定着コース終了日の体重を比較する。 体重が減少した人数／30～60歳未満の参加者数×10	さがみはら健康プラン21計画の適正体重を維持している人を増やす。H19年度調査では30～60歳未満の肥満者は21．8%であり15%以下とする数値目標がある
指標3	生活習慣病予防のために適正体重を維持している人の増加	20歳～60歳代の男性肥満の率及び40歳～60歳代の女性肥満の率	
指標4			
指標5			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：人）	H17	9,574.0	10,156.0	6,271.0	10,460.0		10,773.0		11,096.0	
事業費／人員										
指標2（単位：頭）	H19	34.8	34.0	34.8	37.0		40.0		43.0	
事業費／人員										
指標3（単位：店）										
事業費／人員										
指標4（単位：点）										
事業費／人員										
指標5（単位：%）										
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.137で121施策の中で64番目。
〇重要度は3.797で72番目である。
〇改善要望度は-0.0148で64番目である。
〇年齢別にみると、満足度は60代で最も高く、20代で最も低くなっている。重要度は70歳以上で最も高く、20代で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、南部で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	(4) 2　1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4　2 (1)	(4) 2　1	平成20年度「市民健康づくりの推進」の満足度（3.137）は平均より若干低い。 重要度（3.797）は平均より低い。
合計		5	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 B

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	メタボリックシンドロームの予防改善には運動不足解消が重要であるが、さがみはら健康プラン21の中間評価では、30～60歳未満(働き盛り)の男性の肥満者は30.3%と増加している。また、同年代の運動習慣を持つ人の割合も男女共全年齢に比し、低い傾向にある。
解決策	効果的な運動習慣が定着するよう働き盛り層である職域等への事業PRを積極的に行なう。また、メタボリックシンドロームの予防に向け、より若い世代からからだを動かすことを生活の中に取り入れ健康的な減量ができるよう現行の対象者の拡大を検討する。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

客観的に成果を測定できる指標設定を行う必要がある。 ⇒3次評価に基づく、改善計画において対応する。	2次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

◆「健康プラン21」の「適正体重を維持している人の割合」を指標に設定すること。 ◆健康づくりイベント参加者が減っていることが課題ではないのか。そのための解決策を検討すること。	3次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

自ら行う健康づくり

コード	12210

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
~~中央保健センター~~ 3保健センター	健康増進事業	14,413	13,876	13,876	2	法	0.50	15,280	19,305
~~中央保健センター~~ 健康企画課	保健と福祉のライブラリー	9,276	9,373	13,680	1	4	0.01	9,459	9,509
~~中央保健センター~~ 健康企画課 ~~津久井保健センター~~	市民健康づくり運動推進経費	4,979	4,871	4,871	1	~~2~~法	1.00	3,690	11,740
~~中央保健センター~~	~~歯の衛生週間歯科事業~~					~~5~~	~~0.17~~	~~1,062~~	~~2,431~~
地域保健課 津久井保健センター	楽しむ健康づくり推進事業	2,917	2,564	2,564	1	1	0.10	2,550	3,355
~~地域保健課~~	~~食育推進事業~~					~~3~~	~~0.40~~	~~20~~	~~3,240~~
~~地域保健課~~	~~栄養改善事業費~~					~~法~~	~~1.04~~	~~2,749~~	~~11,121~~
~~中央保健センター~~	~~栄養改善事業費~~					~~法~~	~~0.92~~	~~2,094~~	~~9,484~~
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		31,585	30,684	34,991			4.13	36,904	70,184